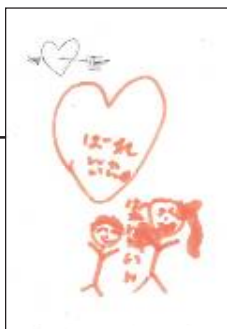




▲ PN ここみ



▲ PN えりたん



▲ PN 光原幸葉

読者の広場は皆さんから寄せられたハガキなどで作るページです。

まにわ が 好きっ 読者の広場

今月のテーマ

「バレンタインデー」

「青春時代に」

PN 木目木六(上河内)

現役時代は義理チョコでももらっていたが、卒業してからは娘や孫が贈って来てくれ、妻もかわいそうと買ってくれることもある。昔はこんな慣習はなかった。菓子屋の策略にのせられているのか、今ではチョコレートではなく、高価なものを贈るようです。でも若い時はロマンがあり、本命かと胸をドキメカした青春時代がみんなあったのでは！

「楽しい行事として」

小椋蓉子さん(下湯原)

「バレンタインデー」を辞書で引いてみると、3世紀に殉教死したバレンタイン受難記念日で毎年2月14日に行わ



れ、相愛の男女が公然と愛をささやく習慣があり、女性から贈り物をする事ができる日、とあります。私も働きざかりのころ、職場では男性に義理チョコを配っていました。当時は今の時代よりチョコレートの種類も少なく、高価な物はなかったように思います。今は種類もパッケージもとても豊富で、見るからにおいしそうです。有名人、特に若いイケメンは、ファンからもらうチョコレートでトラツクがいったいになった、といったことがニュースになったりしました。現在の若い人た

お便り
お待ちしております!

メールの場合は
hisho@city.maniwa.lg.jp

4月号 読者の広場

テーマは
「宝物」です。

机の中にしまっている宝物、人との出会いや大切な思い出など、宝物について200字程度でお寄せください。

川柳の兼題は
「式」です。

お便りは、先月号に同封したはがきをご利用ください。川柳の締め切りは2月24日(金)です。

3月号では
「子育て」
についてお便りを募集
しています。

「ニワトリ」

松本定子さん(上河内)

ここからは、皆さんから寄せられた「テーマ」以外のお便りをご紹介します。

私が小学校低学年の頃、貧しかった我が家には常に鶏が5〜10羽いて、現金収入の少ない時代、卵は食わずに時々買いに来る人に売っていました。時々薄皮や割れた卵だけを焼いて親子5人に切り分け、少しずつ味わって食べたものです。卵を産まない鶏は食料になります。「明日、卵を産まんと殺されてしまうよ」

ちはどういう意味でプレゼントをしているのか、はかり知れません。女性から積極的にプレゼントができるのは、ほほ笑ましいし、楽しい行事として定着してきたようです。

と、私は鶏に話しかけます。すると翌日には卵を産んだ、という体験も何度かしました。そして、卵を産まない鶏を父と私は追いかけてながら処分し、さばくのです。お腹の中にはあと1日で生まれそうな薄皮卵と数十個の1つ1つ大きな違う卵があつて順番に大きくなり、黄身卵、薄皮卵と卵管を通り、殻のついた卵にと準備ができていました。「もう1日待ったら良かったなあ」と、突然断ち切られた子育てを思つて、この年になつてもその時の悲しみを思い出します。さばきながら、鶏の部位の名称、内臓の働きなどを教えてもらったこと、夕食の久し振りのすきやきがおいしかったこと、貧しい中にも私はいっぱい大切なことを学んできました。ニワトリさんに感謝！



★対象★
発行月に1歳の誕生日を迎えられる市内在住のお子さん。
★応募期限★
誕生月の前の月の10日まで
★掲載内容★
①お子さんの写真②氏名(ふりがな)③性別④生年月日⑤住所⑥応募者のお名前と続柄
★応募および問い合わせ先★
真庭市役所 秘書広報課
〒719-3292 真庭市久世2927-2
TEL7-42-1163 (FAX1353)
E-mail: hisho@city.maniwa.lg.jp
※☎=応募者



▲PNドラゴンガイヤ



▲PN たつき

「お正月の過ごし方」

PN みなみの風さん(鹿田)

新しい年が始まりました。大みそかは家族で紅白歌合戦を楽しんだ後、元旦午前0時から、地元の神社とお寺に参って初詣をしました。願い事をしたための護摩木をたいてもらい、夜空を焦がす炎を見上げながら、すがすがしい気持ちで新年を迎えることができました。元日は穏やかな天候に恵まれ、1年の始まりを祝うように鮮やかな日の出が輝いていました。「明けましておめでとう」と、朝はおせち料理とお雑煮を味わい、続いて家族に届いた年賀状の仕分け作業。それからまた別の神社とお寺へ初詣に出かけ、家内安全や身体健全などを願いました。みんなでおみくじも引いて一喜一憂。のんびりと過ごせた今年の三が日、日本

固有の文化であるお正月を再認識するとともに、家族の仲も一層深まったように感じました。

「春よ来い」

PN 緑の田んぼさん(上水田)

1月の中旬は日本各地で大雪でした。真庭市内も真っ白な銀世界、一面すっぽりと雪に覆われ、県北の厳しい冬を実感させられました。そんな折、農産物直売所で一足早く「春の味覚」が並んでいるのを見かけました。フキノトウです。初々しい若緑色のつぼみは愛らしく、何よりあの独特の香りが新鮮です。寒さに耐えて芽を出したその健気さ、たくましい息吹が感じられます。春はもうすぐそこだよと、私たちを励まし、季節の移り変わりを教えてくれている気がしました。



しが こゆき
志賀 心結喜ちゃん
H28.2.17生まれ(蒜山下見)
☎ 英夫・弘美さん(両親)



ひぐち とうま
樋口 冬真くん
H28.2.19生まれ(勝山)
☎ 喬弥・秀子さん(祖父母)

CLTモデル建築物 愛称募集

【応募期限：2月15日(水)まで】

真庭市では、新しい木質建築材料「CLT（直交集成板）」の構造物をいつでも多くの人に見て触って体験してもらうため、久世駅の横にCLTのモデル建築物を建設しています。この建築物に親しみを持っていただくため、愛称を募集しますのでご応募ください。

詳しくは、募集要項をご覧ください。

▶応募資格 どなたでも応募できます

▶応募方法

真庭市ホームページ、財産活用課、各振興局に用意している応募用紙に記入し、E-mail、FAXまたは郵送でご応募ください。※1人何点でも応募可能。ただし、1通につき1点まで。

▶問い合わせ・応募先

財産活用課 TEL7-42-1174(FAX1119)



完成イメージ

この建物は、「まちなか回遊のランドマーク施設」、「サイクリングロードのターミナル施設」などとしても活用予定です。



▲ もりたゆうすけ



▲ PN フェルメールの青



▲ PN パス



初の第九演奏会に感謝
島村唯人さん(久世)
 エスパス第九演奏会に初めて出演してホルンを演奏しました。すごく緊張しましたが、楽しく演奏することができました。第3楽章にホルンがソロで演奏するところがあり、そこがうまく吹けたことが嬉しかったです。この演奏会のために何人も人が私をサポートしてくれました。無事に演奏会が終われた今、皆さんにとっても感謝しています。

サッカーが大好き！
吉田壮汰くん(勝山)
 冬季真庭サッカー大会に出場しました。大会では選手宣誓をしました。緊張したけど、みんながいいプレーができるように気持ちを込めてできました。この大会には小学2年生の時から出場しています。今日の大会に向けてトラップを完璧にできるよう練習をしました。これからの目標は真庭選抜に入ること。メンバーに選ばれるよう一生懸命練習



朗読の素晴らしさに触れて
家元清志さん(上)
 東日本復興支援「おはなしのWAJ朗読会」に参加しました。昔から本が好きで、小

取材先で、こんにちは。

真庭人
 ま にわ ひと

を頑張ります。中学校に入ってから大好きなサッカーを続けます！



説などを年間100冊ほど読んでいます。朗読会に参加したのは今回が初めてでしたが、本を読むのとはまた違った素晴らしさがあり、とても感動しました。現在、勝山小学校の児童たちに読み聞かせを行っています。元アナウンサーの朗読グループ「おはなしのWAJ」の皆さんと同じようにはできないと思いますが、少しでも近づけるようにこれからも頑張っていきたいと思いました。

図書館へ行こう！ 本の紹介

勝山図書館

〒717-0007 真庭市本郷1819-6

TEL・FAX 7-44-2012

開館時間 (平日) 9:00~18:30

(土日) 9:00~17:00

休館日 毎週月曜日、祝祭日、年末年始

今月のおすすめの本

「すぐに役立つ366日記念日事典」

加瀬清志／著 創元社



「マヨネーズの日」から「新聞配達の日」まで。よく知られている記念日はもちろん、さまざまなジャンルの記念日を、由来やエピソードの解説を交えて日付順に紹介します。新しく認定された記念日を400件以上掲載しています。

「贅沢グラタンと旨味シチュー」

日東書院本社

ホワイトソース、ブラウンソース、野菜ソースの3種のソースで作るグラタン&シチューを紹介。クリーミーグラタン、ミートグラタン、スープグラタンなど寒いこの季節に作ってみてはいかがでしょうか？



「二ノ丸くんが調査中」

石川宏千花／作 偕成社



今日太のクラスメイト、二ノ丸くんはちょっと変わっている。二ノ丸くんが調べているのは、不思議で怖い都市伝説。「記憶をなくせるトンネル」「アンジェリカさん」など、全4話からなる連作短編集。

「とりかえっこ とりかえっこ」

ふくだじゅんこ／作 大日本図書

りんごちゃんやみかんくん、ばななさん、めろんどんも、「よーいどん」でお洋服をぬぎぬぎしたら…みんなでお洋服をとりかえっこ！だれだかわかるかな？りんごちゃんたちと一緒に着替えるが楽しくなる絵本です。



ヘルシー クッキング

真庭市栄養改善協議会の提供です



黒豆入りいたけおこわ

真庭の郷土料理の一つです。市内のおこわは地域ごとに少しずつ違いがありますが、こちらもお勧めです。

材料(8人分)

・もち米5合・黒豆80g・押し麦100g

A

・干しシイタケ50g・こんにゃく50g
・ゴボウ100g・ニンジン100g
・鶏肉100g・油揚げ2枚
・サラダ油大さじ1/2

B

・だし汁1カップ・塩少々・砂糖30g
・みりん40ml・薄口しょうゆ1/2カップ
・シイタケの戻し汁1/4カップ

作り方

- ①もち米は8時間くらい水に、黒豆は10時間くらい塩水に漬けておく。押し麦は蒸す前に洗っておく。
- ②Aの具材は、それぞれ細かく切る。
- ③①の水をそれぞれきり、蒸し器に入れてAのニンジンを混ぜておく。
- ④鍋に油を熱し、鶏肉を炒め、残りのAを加えて炒め、Bを入れて調味し、具材が柔らかくなったらずで具材と煮汁に分ける。具材を③に混ぜ込み30分蒸す。
- ⑤④を一度ボウルに移し、④の煮汁を振りかけざっくり混ぜ、再び蒸し器にもどし15分くらい蒸す。

<1人分栄養価>

エネルギー519kcal たんぱく質 18.4g
脂質 8.5g 炭水化物 91.5g
食塩 2.2g

今月のレシピ
提供は

松田千江美さん
(勝山支部)



まにわ が 好きっ 読者の広場



▲ 今石英子



▲ 岩野明里



大野呂山から望む初日の出(1/1)

元日朝、真庭市別所の大野呂山(標高646m)山頂付近からの眺めです。鮮やかな初日の出と一面に広がる雲海を同時に見ることができました。幻想的な光景に思わず息をのみ、夢中でシャッターを切りました。

川柳「杖」

選:落合川柳会 奥山邦江さん

4月号の兼題は「式」

- 旅支度玄関先には杖が待ち
杖に代え枝木運びて抜ける空
年金を杖に独りの高齢者
戦中派杖で九段の母思う
杖となる年金しわじわ減るばかり
一歩出るやる気助けてくれる杖
道問へば杖が教える老い仲間
躓いた石に慌てぬ杖を持ち
しつかりと結ぶ手が杖共白髪
正確に歩幅に合す杖の跡
お互いに目とも杖ともなるつもり
つらいとき心の杖は子の笑顔
杖ついて生きる絆を温め合い
老母達者わが家の杖とも柱とも
百二まで生きた証の義父の杖
目も耳も口も達者で杖がいる
老いてゆき心支える杖もいる
- 君影草 組
林陽子 曲り
中山春子 本庄
小椋蓉子 下湯原
植田万里子 月田
沼本治国 鹿田
樋口重雄 見尾
菊池千江子 本郷
若田万寿子 落合垂水
小谷義孝 月田
行本慎五 久世
小椋芳子 蒜山東茅部
菊池俊男 本郷
牧俊隆 西原
岩古房恵 蒜山東茅部
横山とも子 久世
長尾道子 三阪
- 〈軸吟〉元気印もついに頼りの杖を買う
邦江